特定非営利活動法人Earth Communication

2020年（年度）事業報告書

１　事業の成果

自然楽校事業では、今年度より自主活動を中心に行う。セブン-イレブン記念財団の助成をいただき、シーカヤック体験やスノーケリング体験を通して、アマモ場の生きもの観察会を実施。新型コロナウイルス対策として、各回1組もしくは1家族のみで開催。夏休み期間を中心に、多くの方が参加してくださった。また、文部科学省 企画競争事業『子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業』の一活動である、自然体験活動推進協議会主催『みんなdeアウトドア』の一環として、新型コロナウイルスの影響を受けている子どもたちの支援を目的に、いずっこ 秋キャンプを実施。伊豆市 社会教育課の皆さんも協力してくださり、伊豆市や御前崎市、牧之原市の子どもたち16名が参加。秋の伊豆の自然を楽しむ、2泊3日のキャンププログラムを行うことができた。

未来へのこす事業では、昨年度に引き続き、久々生海岸 里海プロジェクトとしてビーチクリーン活動を中心に行う。静岡新聞社の方が取材に来てくださってことをきっかけに、多くの方に取り組みを知っていただくことができ、年度末には、静岡県知事との知事広聴の場にお招きをいただき、取り組みについてお話をさせていただく。また、県内研究機関の皆さんが現地視察に来てくださり、新しいつながりをつくることができた。このつながりを活かし、2021年度にアマモ場での生きもの調査と稚魚の放流を交えた海洋環境学習活動の企画が生まれる。

自然とつながる事業では、御前崎クエストの活動が4年目を迎え、新型コロナウイルスの影響もあったが、無事に全活動を行うことができた。また、今年度より御前崎市 社会教育課主催　生涯学習講座の一環として『親子de御前崎クエスト』の活動がスタートする。御前崎クエスト全活動が、御前崎市の主要事業として継続されていくことが決まった。また、市内各小学校で取り組んでいた海洋体験活動は、新型コロナウイルスの影響を受け中止となる。しかし、希望する各クラスへ『海辺の安全教室』の出張授業を実施させていただくことができた。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、予定がたてづらく、これまでとは大きく体制を変更して活動に取り組むこととなった。加え、予定していた活動は、ほぼ実施できない状況になった。しかし、無理せずできることを中心に活動を継続してきたことにより、年度当初では想像できなかったほどの成果を上げることができた。多くの方に、私たちの活動を知っていただくことができ、結果的に、良い一年度間となった。これに満足することなく、2021年度においては、今年度の取り組みを継続・発展させ、会員など実際に関わってくださる方を増やしていきたい。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

事　業　名	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
自然楽校事業	シーカヤック体験	6～11月	御前崎市 久々生海岸	3名	一般参加者 約50名	1,300
	スノーケリング体験	7～8月	御前崎市 久々生海岸 他	3名	一般参加者 約40名	
	いずっこ 秋キャンプ	11月21日 ～ 11月23日	伊豆市 萬城の滝 キャンプ場	5名	県内小学生 16名	500
未来へのこす事業	久々生海岸 里海プロジェクト	4月～翌年3月末 月4回程度	御前崎市 久々生海岸	2名	一般参加者 各回 約10名	100
	NEALインストラクター養成講座	12月14～16日	法人事務所	2名	一般参加者 3名	50
	竹林等その他整備作業	不定期	御前崎市内	2名	なし	50

自然とつながる事業	御前崎クエスト	月1回	御前崎市内	3名	市内児童 約50名	1,900
	御前崎クエスト 学生リーダー	7,9,10,11,12,翌年1月 各1回	御前崎市内他	2名	御前崎市民 約10名	
	御前崎市内小学校 5校 海辺の安全教室	6月～8月	各小学校	1名	対象小学生 約1,000名	300
	親子de御前崎クエスト	7,9,11,翌年2月 各1回	御前崎市内	2名	市内在住の 家族 9家族	500
	ホームページやSNSの 管理運営	随時	団体事務所	2人	不特定多数	100

＊１　「事業の実施に関する事項」は、事業ごとにそれぞれの項目を記載する。
２　「受益対象者の範囲及び人数」は、具体的に記載する。
３　２(2)は、定款に「その他の事業」の記載がない場合には不要。
４　定款に掲載している事業で報告書に掲載していないものは、その理由を記載する。